

インストレーションインストラクション

ControlLogix-XT EtherNet/IP Bridge モジュール

Cat.No. 1756-EN2TXT

項目	参照ページ
お客様へのご注意	2
ControlLogix-XT システムについて	8
ControlLogix-XT と従来の ControlLogix コンポーネント	8
作業を開始する前に	9
モジュールスロット位置の決定	9
ネットワークアドレスの設定	10
モジュールの初期設定へのリセット	11
モジュールの取付け	12
モジュールの EtherNet/IP ネットワークへの接続	13
USB ポートを介するモジュールの接続	14
USB 接続に必要なコンポーネント	14
USB ケーブルの接続	14
シャーシ電源の投入	15
電源およびモジュールスのテータス確認	15
起動時の英数字ディスプレイの表示	16
モジュールの取り外し	17
ステータスインジケータ	18
一般的な仕様 - 1756-EN2TXT	20
環境条件 - 1756-EN2TXT	21
認可 - 1756-EN2TXT	23
参考資料	24

お客様へのご注意

ソリッドステート機器はエレクトロメカニカル機器とは動作特性が異なります。『ソリッド・ステート・コントロール ソリッドステート機器のアプリケーション、設置、および保守のための安全ガイドライン』(Pub.No. SGI-1.1) (当社の営業所または <http://literature.rockwellautomation.com> からオンラインで入手可能) に、ソリッドステート機器とハード配線エレクトロメカニカル機器との重要な相違点が記載されています。この相違点、またソリッドステート機器はいろいろな用途に使われることから、取扱責任者は使用目的が適切であるかどうかを充分確認してください。






Rockwell Automation, Inc. は、いかなる場合も、本機器の使用または適用により発生した間接的または派生的な損害について一切の責任を負いません。

本書で使用した図表やプログラム例は内容を理解しやすくするためのものであり、その結果としての動作を保証するものではありません。個々の用途については数値や条件が変わることが多いため、当社では図表やプログラム例に基づいて実際に使用した場合の結果については責任を負いません。

本書に記載されている情報、回路、機器、装置、ソフトウェアの利用に関して特許上の問題が発生しても、当社は一切責任を負いません。

Rockwell Automation, Inc. の書面による許可なく本書の全部または一部を複製することは禁じられています。

本書を通じて、特定の状況下で起こりうる人体または装置の損傷に対する警告および注意を示します。

 <p>警告</p>	本書の「警告」は、人身傷害または死亡、物的損害、または経済的損失の原因となる可能性がある、危険な環境での爆発を引き起こす可能性のある操作や状況に関する情報を示します。
 <p>重要</p>	本書の「重要」は、製品を正しく使用および理解するために特に重要な事項を示します。
 <p>注意</p>	本書の「注意」は、人身傷害または死亡、物的損害、または経済的損失の原因となる可能性がある操作や状況に関する情報を示します。「注意」により危険を識別、回避し、起こりうる結果の認識を助けます。
 <p>感電の危険</p>	危険な電圧が発生する恐れがあることを警告するために、ドライブやモータなどの装置または装置の内部にラベルを貼っています。
 <p>やけどの危険</p>	表面が危険な温度に達する恐れがあることを警告するために、ドライブやモータなどの機器または機器の内部にラベルを貼っています。

北米における危険な領域に関する規格

<p>The following information applies when operating this equipment in hazardous locations.</p>	<p>この装置を危険な場所で操作する場合に、以下の情報が適用されます。</p>
<p>Products marked "CL I, DIV 2, GP A, B, C, D" are suitable for use in Class I Division 2 Groups A, B, C, D, Hazardous Locations and nonhazardous locations only. Each product is supplied with markings on the rating nameplate indicating the hazardous location temperature code. When combining products within a system, the most adverse temperature code (lowest "T" number) may be used to help determine the overall temperature code of the system. Combinations of equipment in your system are subject to investigation by the local Authority Having Jurisdiction at the time of installation.</p>	<p>「CL I, DIV 2, GP A, B, C, D」とマークされている製品は、クラス1ディビジョン2グループA, B, C, Dの危険な領域および危険でない領域での使用にのみ適しています。各製品は、定格を示す銘板にマーキングされたように出荷されており、危険な場所の温度コードを示しています。システム内で製品を組み合わせる場合、最も厳しい温度コード（最低の「T」番号）を使用すると、システム全体の温度コードを判別する場合に役立ちます。システム内での装置の組合せは、取付け時に各地域の管轄機関による検査を受ける必要があります。</p>
<p>WARNING</p>  <p>EXPLOSION HAZARD -</p> <ul style="list-style-type: none"> Do not disconnect equipment unless power has been removed or the area is known to be nonhazardous. Do not disconnect connections to this equipment unless power has been removed or the area is known to be nonhazardous. Secure any external connections that mate to this equipment by using screws, sliding latches, threaded connectors, or other means provided with this product. Substitution of components may impair suitability for Class I, Division 2. If this product contains batteries, they must only be changed in an area known to be nonhazardous. 	<p>警告</p>  <p>爆発の危険性：</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源を切断するか、または領域が危険でないといわゆるまでは、装置を切り離さないでください。 電源を切断するか、または領域が危険でないといわゆるまでは、コネクタを切り離さないでください。この製品に付属するねじ、スライディングラッチ、ねじ式のコネクタ、または他の方法を使用して、外部接続を固定してください。 コンポーネントを置き換えると、クラス1、ディビジョン2への適合性を損ないます。 製品にバッテリーが含まれている場合は、領域が危険でないといわゆる場合にのみバッテリーを交換してください。

環境およびエンクロージャ

注意



この装置は、過電圧カテゴリ II アプリケーション (IEC Pub.No. 60664-1 に定義)、高度 2000m (6562 フィート) までディレーティングなし、汚染度 2 の産業用環境での使用を意図しています。

この機器は、IEC/CISPR Pub. No.11 に準拠したグループ 1、クラス A 産業用機器とみなされます。適切な事前注意なしでは、伝導性と放射性の外乱があるために、他の環境では、電磁波による障害を受けないようにするのは困難です。

この装置は、「開放型」装置として出荷されています。特定の環境条件に適合し、帯電部への接触による人体への危険を防ぐように適切に設計されたエンクロージャ内に取付ける必要があります。このエンクロージャは適切な難燃性を持ち、火災の広がりを防ぐか最小限に抑えるもので、非金属製の場合は火災伝播率が 5VA, V2, V1, V0 (またはこれらと同等) であることが必要です。また、何らかのツールを使用しなければエンクロージャの内部にアクセスできないような構造が必要です。以降のセクションには、特定の製品の安全要件を満たすのに必要な特定のエンクロージャタイプの定格に関する追加情報が記載されています。

他の参考文献：

- その他の取付け要件については、『配線および接地に関するガイドライン』(Pub.No. [1770-4.1](#)) を参照してください。
 - エンクロージャのタイプによって異なる保護レベルの説明については、対応する NEMA 規格 Pub.No. 250 および IEC Pub. No. 60529 を参照してください。
-

静電防止対策

注意

この装置には、内部的に損傷し通常の動作に影響する恐れがある、静電気（ESD）に敏感な部品が含まれています。この装置を取り扱う場合は、以下の静電防止対策が必要になります。

- 接地されたものに触れて、静電気を放電すること。
- 認可された接地用リストストラップを着用すること。
- コンポーネントボード上のコネクタやピンに触れないでください。
- 装置内部の回路部品に触れないでください。
- 用意できれば、静電防止ワークステーションを使用します。
- 使用しないときは、装置を適切な静電防止袋に入れて保管してください。

安全関連のプログラマブル電子システム

警告

個人の責任において、安全関連のプログラマブル電子システム（PES）のアプリケーションに関する、システムのアプリケーション内の安全要件の知識を得たり、システムを使用するためのトレーニングを受けてください。

ヨーロッパにおける危険な場所に関する規格

ヨーロッパゾーン2 認定（製品に Ex または EEx マークがある場合は以下が適用されます）

この機器は、EU 指令 94/9/EC で定義された爆発性空気で使用されることを意図しており、この指令の付録 II で示された爆発性空気での使用を意図するカテゴリ 3 機器の設計および構成に関して、EHSR（Essential Health and Safety Requirements）に準拠しています。

EHSR への適合は、EN 60079-15 および EN 60079-0 に適合することにより保証されます。

注意



この機器には、日光またはその他の紫外線放射に耐性はありません。

警告

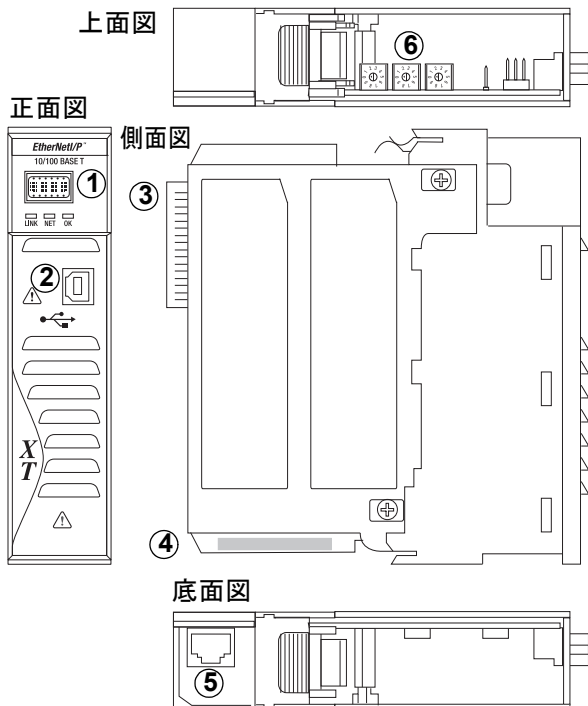


- この機器は、ゾーン2 環境に適用される場合、少なくとも IP54 保護を提供するエンクロージャに設置する必要があります。
- この機器は、アレン・ブラドリーにより定義された定格内で使用される必要があります。
- ゾーン2 環境に適用される場合、定格電圧が40%以上の過渡変動しないように設備を設置する必要があります。
- この機器は、ATEX 認定バックプレーンとのみ使用される必要があります。
- この製品に付属するねじ、スライディングラッチ、ねじ式のコネクタ、または他の方法を使用して、外部接続を固定してください。
- 電源を切断するか、または領域が危険でないことを確認できるまでは、装置を切り離さないでください。

EtherNet/IP Bridge モジュールについて

従来の 1756-EN2T モジュールのように 1756-EN2TXT モジュールを構成し、使用します。1756-EN2TXT および 1756-EN2T モジュールの構成と使用については、『Logix5000 制御システム内の EtherNet/IP モジュール ユーザーズマニュアル』（Pub.No.[ENET-UM001](#)）を参照してください。

以下の図を使用して、モジュールの外部機能を確認してください。



31919-M

項番	説明
1	モジュールステータスを示す英数字ディスプレイ
2	一時的なワークステーション接続用の USB ポート
3	バックプレーンコネクタ
4	MAC ID
5	RJ45 接続用の Ethernet ポート
6	IP アドレスの設定に使用されるロータリスイッチ

ControlLogix-XT システムについて

ControlLogix-XT 製品は、制御と通信システムコンポーネントを含み、FLEX I/O-XT 製品と共に使用される場合に、-20 ~ 70 °C (-4 ~ 158 °F) の温度範囲に耐え得る完全制御システムソリューションを提供します。

独立して使用する場合、ControlLogix-XT システムは -25 ~ 70 °C (-13 ~ 158 °F) の温度範囲に耐えることができます。

ControlLogix-XT と従来の ControlLogix コンポーネント

重要

ControlLogix-XT システムコンポーネントは、適切な Logix-XT システムコンポーネントと使用された場合にのみ、極限環境条件に対応できます。ControlLogix-XT コンポーネントを従来の ControlLogix システムコンポーネントと使用した場合、極限環境の定格は無効となります。

ControlLogix-XT モジュールが従来の ControlLogix 製品と共に使用された場合、つまり、ControlLogix 製品が極限環境に対応するように設計されていないため、ControlLogix-XT モジュールは、従来の ControlLogix バージョンのモジュール仕様で示される環境にのみ対応することができます。たとえば、1756-EN2TXT モジュールを従来の 1756-A10 シャーシで使用した場合、1756-EN2TXT モジュールは、従来の 1756-EN2T モジュール用に指定された環境にのみ対応できます。

ControlLogix-XT システムコンポーネントは、従来の ControlLogix 製品と同一またはより過酷な運用/環境要件を満たすように設計されています。

ControlLogix-XT コンポーネントが従来の ControlLogix コンポーネントの代替として使用された場合、従来の ControlLogix コンポーネントの機能/環境要件が適用されます。

標準の ControlLogix コンポーネントの仕様および設置要件については、[24 ページ](#)の「参考資料」の表にリストされているマニュアルを参照してください。

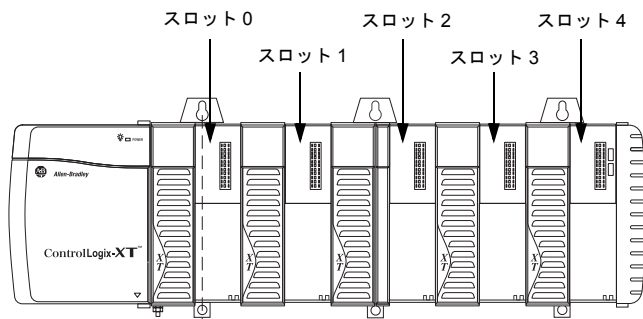
作業を開始する前に

モジュールを取付ける前に、参照するマニュアルを使用して以下の作業を完了しておいてください。

作業	マニュアル名
ControlLogix-XT シャーシの取付け	ControlLogix-XT Chassis, Series B Installation Instructions (Pub.No. 1756-IN637)
ControlLogix-XT 電源の取付け	ControlLogix-XT Power Supply Installation Instructions (Pub.No. 1756-IN639)

モジュールスロット位置の決定

ControlLogix-XT シャーシのいずれかの空きスロットにモジュールを取付けます。同一のシャーシに複数の 1756-EN2TXT モジュールを取付けることができます。

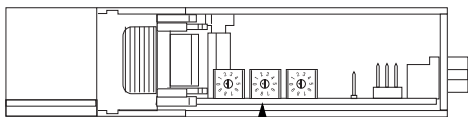


31818-M

ネットワークアドレスの設定

モジュールは、ロータリスイッチを 999 に設定し、BOOTP を有効にした状態で出荷されます。以下のいずれかの方法で、ネットワークのインターネットプロトコル (IP) アドレスを設定できます。

- モジュール上部のロータリスイッチを使用する。



31587

ロータリスイッチ

- ロックウェル・オートメーションの BootP-DHCP サーバツールのような、BOOTP サーバまたは DHCP (動的ホスト構成プロトコル) サーバを使用する。
- ロックウェル・オートメーションの RSLinx または RSLogix 5000 ソフトウェアを使用する。

モジュールは最初にロータリスイッチの値を読んで、指定された IP アドレスの最後の部分が有効な数値であるかを判断します。有効な数値の範囲は、001 ~ 254 となります。

スイッチが有効な数値に設定されていれば、モジュールの IP アドレスは 192.168.1.xxx (xxx はスイッチに設定された数値) になります。モジュールのサブネットマスクは 255.255.255.0、ゲートウェイアドレスは 0.0.0.0 に設定されます。ロータリスイッチの設定を使用する場合、モジュールにはホスト名が割付けてられないか、任意のドメイン名システムが使用されます。

BOOTP、DHCP、およびモジュール IP アドレス

BOOTP または DHCP の設定	モジュールの動作
有効	DHCP/BOOTP サーバからアドレスを取得します。サーバ側で他の TCP (伝送制御プロトコル) パラメータも割付けます。
無効	不揮発性メモリに保存された IP アドレスを (その他の TCP 構成可能なパラメータと共に) 使用します。

モジュールの初期設定へのリセット

モジュールを工場出荷時の設定に戻すには、スイッチを 888 にリセットし、電源を切断後再投入します。

重要

通常のモジュール動作中は、スイッチを 888 に設定しないでください。

スイッチを 888 に設定して電源を切断後再投入した後、モジュールを取り外し、スイッチを最終的な値に設定します。回転式スイッチを 888 以外の値、または有効な IP アドレス値 001 ~ 254 に設定すると、ソフトウェア構成で IP アドレスが識別されます。

モジュールの取付け

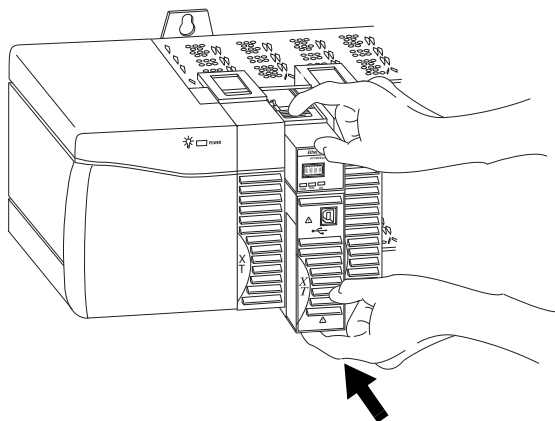
警告



電源が投入されている状態でモジュールを挿入または取り外すと、アーク放電が発生することがあります。危険な領域での取付けは爆発を起こす原因ともなります。

バッテリーを扱う前には、電源を切るか領域が安全であることを確認してください。アーク放電が繰り返し発生すると、モジュールと対応するコネクタの両方の接点が過剰に摩耗する原因になります。接点が摩耗すると、モジュール運用に影響する電気抵抗が生じることがあります。

以下の手順に従って、モジュールを取付けてください。



1. サークットボードをシャーシの上下ガイドに合わせます。
2. モジュールをシャーシ内にスライドさせます。

モジュールバックプレーンコネクタがシャーシバックプレーンに適切に接続されていることを確認します。電源またはその他の取付けモジュールと同じ面に揃っていれば、モジュールは適切に取付けられています。

モジュールの EtherNet/IP ネットワークへの接続

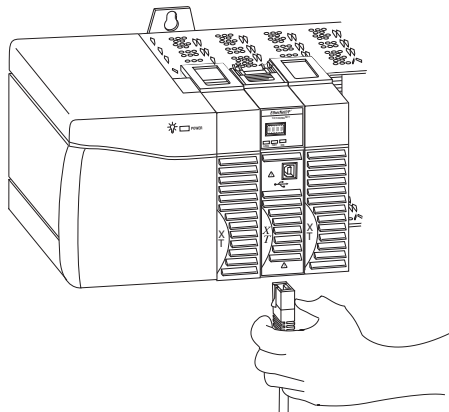
警告



このモジュールまたはネットワーク上の機器に電源が投入されている状態で通信ケーブルの接続や切断を行なうと、電気的なアークが起こることがあります。危険な領域での取付けは爆発を起こす原因ともなります。

バッテリーを扱う前には、電源を切るか領域が安全であることを確認してください。

下図のように、RJ45 コネクタをモジュールの下部にある Ethernet ポートに取付けます。



重要

100MB Ethernet スイッチを介してモジュールをネットワークに接続することをお奨めします。これにより、パケットの衝突や損失を減らし、ネットワークのバンド幅を増やすことができます。EtherNet/IP 接続については、『EtherNet/IP Performance and Application Guide』(Pub.No.[ENET-AP001](#))を参照してください。

USB ポートを介するモジュールの接続

警告



USB ポートは、一時的なローカルプログラミングのみを目的としており、永続的な接続を目的としていません。このモジュールまたはネットワーク上の機器に電源が投入されている状態で通信ケーブルの接続や切断を行なうと、電気的なアークが起こることがあります。危険な領域での取付けは爆発を起こす原因ともなります。

バッテリーを扱う前には、電源を切断するか領域が安全であることを確認してください。

Samtec 社の RSP-119350 USB ケーブルには、危険な領域に関する認が必要が必要です。

USB 接続に必要なコンポーネント

EtherNet/IP モジュールは、タイプ B リセプタクルを使用する USB デバイス用のポートを備えています。ポートは USB 1.1 との互換性を持ち、12Mbps で稼働します。1756-EN2TXT モジュールで USB ポートを使用するには、ワークステーションに RSLinx ソフトウェア (Ver.2.55 以後) をインストールする必要があります。

USB ケーブルの接続

注意



USB ケーブルは長さ 39.84m (9.84 フィート) 未満で、ハブを含めないでください。

USB ケーブルを使用してコンピュータを USB ポートに接続します。この接続により、コンピュータから直接コントローラにプログラムをダウンロードでき、Ethernet モジュールを構成できます。

RSLinx ソフトウェアのインストール時に USB ドライバが設定されなかった場合、必要なソフトウェアをインストールするようにプロンプトが表示されます。USB ドライバ設定については、『Logix5000 制御システム内の EtherNet/IP モジュール ユーザーズマニュアル』(Pub.No.[ENET-UM001](#)) のを参照してください。

シャーシ電源の投入

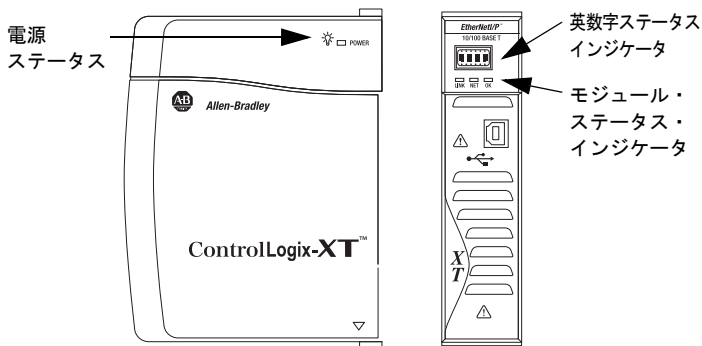
ControlLogix-XT 電源を投入して、シャーシに取付けた EtherNet/IP モジュールに電力を給電します。

電源およびモジュールのステータス確認

通電後、以下を確認します。

- 電源ステータスインジケータ
- モジュール・ステータス・インジケータ
- モジュール英数字ディスプレイ

これらのインジケータは、モジュールが適切に稼働しているかどうかを示します。



ステータスを確認する場合は、以下のセクションを参考にしてください。

- 起動時の英数字ディスプレイの表示、[16 ページ](#)
- ステータスインジケータ、[18 ページ](#)

起動時の英数字ディスプレイの表示

取付けて電源を挿入した時点で、モジュールの英数字ディスプレイに以下のステータスが順に表示されます。

1. TEST
2. PASS
3. OK
4. REV X.X (X.Xはモジュールの現在のファームウェアリビジョン)

この一連の表示が完了すると、ディスプレイに OK とモジュールの EtherNet/IP アドレスが交互に表示されます。

EDS ファイルのインストール

EDS ファイルはモジュールから直接アップロードできません。この機能により、以下の手順に従って、RSLinx ソフトウェアからモジュール用の EDS ファイルを登録することができます。

1. RSLinx ソフトウェア (Ver.2.55 以後) を起動して、モジュールを探します。
2. モジュールを右クリックして、Upload EDS file from device (デバイスから EDS ファイルのアップロード) を選択します。

Upload EDS (EDS のアップロード) ウィザードが開きます。
3. EDS ウィザードを実行して EDS ファイルを登録します。

EDS ファイルは、www.ab.com/networks/eds.html からダウンロードして RSLinx EDS ハードウェア・インストールレーション・ツールでインストールすることもできます。

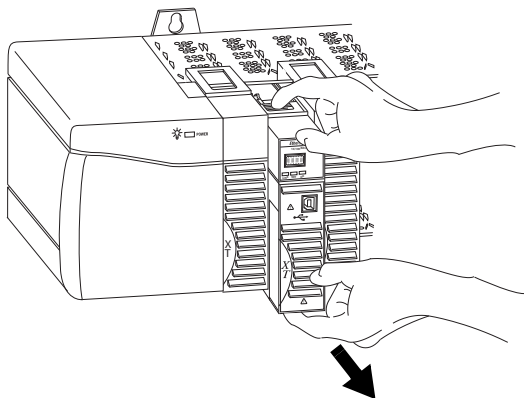
モジュールの取り外し

警告

電源が投入されている状態でモジュールを挿入または取り外すと、アーク放電が発生することがあります。危険な領域での取付けは爆発を起こす原因ともなります。

バッテリーを扱う前には、電源を切るか領域が安全であることを確認してください。アーク放電が繰り返し発生すると、モジュールと対応するコネクタの両方の接点が過剰に摩耗する原因になります。接点が摩耗すると、モジュール運用に影響する電気抵抗が生じることがあります。

このモジュールは、シャーシ電源が投入された状態でも取り外したり取付けることができます。以下の手順に従って、モジュールを取り外します。



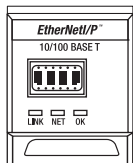
1. 上下のモジュールタブを押して、タブを開放します。
2. コントローラをスライドさせシャーシから引き出します。

重要

既存のモジュールを同一のものと置き換え、同一のシステム運用を再開する場合、同じスロットに新しいモジュールを取付ける必要があります。

ステータスインジケータ

以下の表を利用して、ステータスインジケータの意味を確認してください。



NET ステータスインジケータ

状態	説明
消灯	モジュールが給電されていません。シャーシ電力が給電され、モジュールがシャーシおよびバックプレーンに完全に挿入されているかどうかを確認してください。 モジュールに有効な IP アドレスがありません。モジュールに有効な IP アドレスが構成されているかどうかを確認してください。
緑色に点滅	モジュールに IP アドレスはありますが、コネクションが確立されていません。
緑色	モジュールに IP アドレスがあり、少なくとも 1 つのコネクションが確立されています。
赤色に点滅	モジュールの 1 つまたは複数のコネクション先がタイムアウトしました。
赤色	モジュールがネットワークですでに使用されている IP アドレスを使用しようとしています。モジュールに固有の IP アドレスを割付けてください。

LNK ステータスインジケータ

状態	説明
消灯	モジュールが通信できる状態にありません。モジュールがオンになっているかどうかを確認してください。
緑色	モジュールが通信できる状態にあります。
緑色に点滅	モジュールがネットワークを介して通信中です。

OK ステータスインジケータ

状態	説明
消灯	モジュールに DC24V のシャーン電力が給電され、モジュールがシャーンおよびバックプレーンに完全に挿入されているかどうかを確認してください。
緑色に点滅	モジュールが構成されていません。
緑色	モジュールは適切に稼働しています。
赤色に点滅	モジュールに回復可能なフォルトが検出されました。構成エラーがフォルトの原因である可能性があります。モジュール構成を確認してください。必要に応じて、モジュールを再構成してください。
赤色	モジュールに回復不能なフォルトが検出されました。モジュールの電源を切断後再投入してください。フォルトを解消できない場合、モジュールを交換してください。
赤色で、英数字ディスプレイに Image Update Needed (イメージ更新が必要) という表示がスクロールされる。	ファームウェアイメージを更新してください。イメージが更新されたら、電源を切断後再投入します。それでもフォルトが解消されない場合は、モジュールを交換してください。
赤色および緑色に点滅	モジュールは、電源投入時の自己診断テストを実行しています。

一般的な仕様 - 1756-EN2TXT

項目	値
モジュールの位置	ControlLogix-XT シャーシのいずれかのスロット
DC5V のときの バックプレーン電流 (mA)	1 A
DC24V のときの バックプレーン電流 (mA)	3mA
エンクロージャタイプ 定格	なし (開放型)
絶縁電圧	30V (連続)、基本絶縁タイプ USB とシステム間に絶縁なし。 60 秒間 AC853V で Ethernet からシステムの形式試験済み
消費電力	17.1BTU/hr
ワット損	5.1W
配線サイズ	Ethernet 接続 : IEC 60603-7 に準拠した RJ45 コネクタ、TIA 568-B.1 に準拠した 2 または 4 ペアカテゴリの 5e ミニマムケーブル、ISO/IEC 24702 に準拠したカテゴリ 5 ケーブル
配線カテゴリ	2 - 通信ポート ⁽¹⁾
北米温度コード	T4A
IEC 温度コード	T4
USB ポート用の (推奨) USB ケーブル	Samtec ケーブルの PN RSP-119350
USB ポート	USB 1.1 USB デバイス USB シリーズ B リセプタクル

⁽¹⁾ 導線の敷設を計画するときは、この導線カテゴリ情報を使用してください。
『配線および接地に関するガイドライン』(Pub.No. [1770-4.1](#)) を参照してください。

環境条件 - 1756-EN2TXT

項目	値
動作温度 IEC 60068-2-1 (テスト Ad, 動作時の耐寒性)、 IEC 60068-2-2 (テスト Bd, 動作時の耐乾熱性)、 IEC 60068-2-14 (テスト Nb, 動作時の耐熱衝撃性)	-25 ~ 70 °C (-13 ~ 158 °F)
非動作時温度 IEC 60068-2-1 (テスト Ab, 開梱状態で非動作時の耐寒性)、 IEC 60068-2-2 (テスト, 開梱状態で非動作時の耐乾熱性)、 IEC 60068-2-14 (テスト Na, 開梱状態で非動作時の耐熱衝撃性)	-40 ~ +85 °C (-40 ~ +185 °F)
相対湿度 IEC 60068-2-30 (テスト Db, 開梱状態での耐湿熱性)	5 ~ 95% (結露なきこと)
振動 IEC 60068-2-6 (テスト Fc, 動作時)	10 ~ 500Hz のとき 2G
動作時の衝撃 IEC 60068-2-27 (テスト Ea, 開梱状態での耐衝撃性)	30 g
非動作時の衝撃 IEC 60068-2-27 (テスト Ea, 開梱状態での耐衝撃性)	50 g
エミッション CISPR 11	グループ 1、クラス A
静電放電イミュニティ IEC 61000-4-2	<ul style="list-style-type: none"> • 6kV 接点放電 • 8kV 空中放電

22 ControlLogix-XT EtherNet/IP Bridge モジュール

項目	値
電磁放電 IEC 61000-4-3	<ul style="list-style-type: none">• 10V/m (1kHz 正弦波 80% AM 80 ~ 2000MHz)• 10V/m (200Hz 50% パルス、900MHz のとき 100% AM)• 10V/m (200Hz 50% パルス、1890MHz のとき 100% AM)• 3V/m (1kHz 正弦波 80% AM 2000 ~ 2700MHz)
高速過渡過電流イミュニティ IEC 61000-4-4	Ethernet ポートで 5kHz のとき ± 2 kV
サージ過渡イミュニティ IEC 61000-4-5	Ethernet ポートで ライン - アース間 (CM) ± 2 kV
伝導性放射イミュニティ IEC 61000-4-6	10V/m (1kHz 正弦波 80% AM 150 ~ 80MHz)

認可 - 1756-EN2TXT

認可 ⁽¹⁾ (2)	値
c-UL-us	UL リストに記載された産業用制御装置、米国とカナダに対して認可。「UL ファイル E65584」を参照。 クラス I、ディビジョン 2 グループ A, B, C, D の危険な領域に関して UL リストに記載、米国とカナダに対して認可。「UL ファイル E194810」を参照。
CE	EU 2004/108/EC EMC 指令、以下に準拠する。 <ul style="list-style-type: none"> • EN 61326-1; 測定 / 制御 / 試験場、産業要件 • EN 61000-6-2; 産業イミュニティ • EN 61000-6-4; 産業エミッション • EN 61131-2; プログラマブルコントローラ (Clause 8, Zone A & B)
C-Tick	AS/NZS CISPR 11; 産業エミッション
Ex	EU 94/9/EC ATEX 指令、以下に準拠する： <ul style="list-style-type: none"> • EN 60079-15; 爆発性雰囲気、保護クラス「n」 (II 3 G Ex nA IIC T4 X) • EN 60079-0; 一般要件 (ゾーン 2)
TÜV	機能安全に関する TÜV 認可 : SIL2 まで (SIL2 を含む)
EtherNet/IP	EtherNet/IP 仕様に対する ODVA 適合性試験

(1) 製品に表示のある場合。

(2) 現在の適合宣言、認可、および他の承認については、<http://ab.com> の Product Certification リンクを参照してください。

参考資料

マニュアル名	説明
Industrial Automation Wiring and Grounding Guidelines (接地および配線に関するガイドライン) (Pub.No. 1770-4.1)	ロックウェル・オートメーションの産業用システムを設置するための一般的なガイドラインが記載されています。
ControlLogix-XT Chassis, Series B Installation Instructions (Pub.No. 1756-IN637)	ControlLogix-XT シャーシの取付け手順および仕様が記載されています。
ControlLogix-XT Power Supply Installation Instructions (Pub.No. 1756-IN639)	ControlLogix-XT 電源の取付け手順および仕様が記載されています。
EtherNet/IP Modules in Logix5000 Control Systems User Manual (Logix5000 制御システム内の EtherNet/IP モジュール ユーザーズ マニュアル) (Pub.No. ENET-UM001)	EtherNet/IP モジュールをさまざまな Logix5000 コントローラと使用方法が記載されています。
EtherNet/IP Performance and Application Guide (Pub.No. ENET-AP001)	EtherNet/IP 接続に関する詳細が記載されています。
ODVA (Open DeviceNet Vendor Association) の Web サイト (http://www.odva.org)	EtherNet/IP 技術の実装に関する情報を提供しています。

発行物は、<http://literature.rockwellautomation.com> で閲覧またはダウンロードしてご利用いただけます。印刷版マニュアルのご購入については、お近くのロックウェル・オートメーション支店または代理店にお問い合わせください。

Allen-Bradley, ControlLogix, ControlLogix-XT, FLEX I/O-XT, RSLinx, RSLogix 5000, Rockwell Automation および TechConnect は、Rockwell Automation, Inc. の登録商標です。

Rockwell Automation に属さない登録商標は、それぞれの企業に所有権があります。

www.rockwellautomation.com

Power, Control and Information Solutions Headquarters

Americas: Rockwell Automation, 1201 South Second Street, Milwaukee, WI 53204-2496 USA, Tel: (1) 414.382.2000, Fax: (1) 414.382.4444
 Europe/Middle East/Africa: Rockwell Automation NV, Pegasus Park, De Klerkelaan 12a, 1831 Diegem, Belgium, Tel: (32) 2 663 0600, Fax: (32) 2 663 0640
 Asia Pacific: Rockwell Automation, Level 14, Core F, Cyberport 3, 100 Cyberport Road, Hong Kong, Tel: (852) 2887 4788, Fax: (852) 2508 1846

ロクウェル オートメーション ジャパン株式会社 本社営業部 〒1104-0033 東京都中央区新川1-5-17 Tel (03) 3206-2786 Fax (03) 3206-2386
 関西支店 〒538-0011 大阪府淀川区西中津5-14-5 Tel (06) 6305-6210 Fax (06) 6305-6792
 中部支店 〒460-0003 名古屋市中区新1-6-5 Tel (052) 222-7080 Fax (052) 222-7065

Publication 1756-IN635A-JA-P - March 2009

PN-36861

Copyright © 2009 Rockwell Automation, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S.A.